

戦争と青春 (1991)

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 B&W/C
時間 102分
初公開日 1991/09/14
公開情報 松竹

【解説】

早乙女勝元の同名小説を作者本人が脚色し映画化。今井正監督が「ひめゆりの塔」以来9年ぶりにメガホンを取ったが、これが遺作となった。東京の下町にある花房モーターズ。娘のゆかりは昔の話を聞こうと質問するが、父の勇太はなぜか答えようとしない。ある日、勇太の姉である清原咲子が、道路に飛び出した子供を助けようとして交通事故に遭ってしまう。そのとき咲子は「蛍子、あぶない」と叫んでいた。父はゆかりに昔の話を語り始める。咲子は戦争で蛍子という名の私生児と生き別れ、以来45年、子供と別れた黒こげの電柱の前に立っていたのだった。

【クレジット】

監督 今井正
製作 大澤豊
岡村光雄
原作 早乙女勝元 「戦争と青春」
脚本 早乙女勝元
撮影 岡崎宏三
美術 春木章
編集 沼崎梅子
音楽 佐藤勝
助監督 池田博穂
出演 工藤夕貴 Youki Kudoh
佐野圭亮
井川比佐志
奈良岡朋子
樹木希林
河原崎長一郎